

笑顔をつくる
ミライをつくる
信大病院

ハミング



第1回

医療現場のキラリ

2024年度
患者満足度調査結果のご報告

科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

第20回 総集編～掲載20回を記念して～

信州大学医学部附属病院広報誌「ハミング」
創刊100号を迎えました

2023年度信大病院支援事業のご報告
マイナンバーカードの健康保険証利用をおすすめします

「水面から飛び立つコハクチョウ」
撮影：大槻 憲吾

医療現場

第1回

キラリ

信大病院の仕事、キャリア、そしてプライベートを充実させ、キラキラ輝くスタッフの幅広さを可視化し、お伝えしていくコーナー。

ドクター紹介



はなおか まさゆき
花岡 正幸

現職

信州大学 副学長
信州大学医学部附属病院 病院長
信州大学学術研究院医学系医学部内科学第一教室 教授
信州大学医学部附属病院呼吸器センター センター長
信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症・アレルギー内科 科長



病院長より 信大病院のご紹介

正式名称は信州大学医学部附属病院ですが、地元の皆様には「信大病院」の方が馴染み深いと思います。信大病院は、鷹匠町にあった市立松本病院の寄付を受け、1945年、松本医学専門学校附属病院としてスタートしました。1949年、信州大学が設置されると、信州大学医学部附属病院と改称され、鷹匠町から旭町への移転が開始されました(図1)。その後、診療科、部門、センター等の新規設置が進み、地域とともに発展を重ねて参りました。1990年の国内3例目の生体部分肝移植、および1999年の国内初の脳死肝移植は記憶に新しいところです。今では、717床の病床に36の診療科を有し、総職員数は2,045名(医師659名、看護師789名など)に上ります。特定機能病院、災害拠点病院、高度救命救急センター、都道府県がん診療連携拠点病院など、25の法令に基づく指定を受けた、長野県の医療の要となっています。

さて、2021年9月より始まった“東西病棟改修事業”は、今年度が最後となります。患者さんやご家族の皆様には、騒音や施設の使用制限など多大なご迷惑をおかけしました。完成の暁には、病院としての機能強化、ハイグレードな個室の整備、ホスピタルモールの充実などが図られ、療養環境が向上します。地域に開かれた信大病院を、今後ともよろしくお願いたします。

Profile

学歴	
1982年	長野県松本深志高校 卒業
1989年	信州大学医学部医学科 卒業
学位	
1999年	医学博士 (信州大学)
職歴・研究歴	
1989年 5月	信州大学医学部附属病院および関連病院で臨床研修を開始 その後、信州大学医学部第一内科で研究に従事
2005年 11月	米国コロラド大学医学部リサーチフェロー
2008年 10月	信州大学医学部内科学第一講座 准教授
2013年 9月	信州大学医学部内科学第一講座 教授
2014年 4月～	信州大学学術研究院医学系医学部内科学第一教室 教授 (現在に至る)
2023年 4月～	信州大学 副学長 (現在に至る) 信州大学医学部附属病院 病院長 (現在に至る)



(図1) 鷹匠町時代の信州大学医学部附属病院

医療現場での姿



花岡病院長の病棟回診の様子を撮影！患者さんの様子を学生や研修医と確認していきます。



外来診療の様子



電子カルテを確認する病院長と医師たち



病棟回診のメンバー

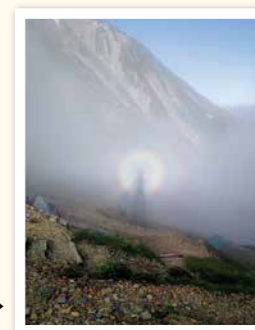
PIC UP! 趣味&マイブーム

信州にある日本百名山

深田久弥の『日本百名山』は余りにも有名で、多くの岳人が憧れとしています。深田は、日本の多くの山を踏破した経験から、「品格・歴史・個性」を兼ね備え、原則として標高1,500m以上の山という基準を設け、『日本百名山』を選定しました。このうち、長野県内あるいは長野県の県境に位置する百名山はいくつあるのでしょうか？正解は30座です。全国の百名山の踏破はとても無理と諦めていましたが、ある日、信州にゆかりの30座くらいは極めようと思覚めました。そして、今年、北アルプス五竜岳(2,814m)と南アルプス甲斐駒ヶ岳(2,967m)に登頂し、23座を制覇することができました。浅間山は、噴火警戒レベルが1に引き下げられたら行こうと思っているのですが、なかなかチャンスが到来しません。さらに、南アルプス南部というアプローチの長い山域が残ってしまいました。それでも長めの休暇が取れたら挑戦したいと、気持ちだけは高ぶっている今日この頃です。



▲念願の甲斐駒ヶ岳に登頂しました。



五竜山荘で見事なブロッケン現象に遭遇しました。中心の影が私です。

Q & A コーナー

ライフワークバランスについて、Offの過ごし方、健康法、人生観、などからQ&A方式にて、素顔をご紹介します。

- Q ストレス発散方法もしくはリラックス方法は何ですか？
- A 温泉に浸かること。長野県内の温泉巡りも趣味の一つです。
- Q 得意な家事(得意料理や〇〇だけはだれにも負けない)は何ですか？
- A 燻製作り。最近はやっていませんが、結構好評でした。
- Q 長期のお休みがあったら何をしたいですか？(海外旅行や宇宙旅行など、なんでも)
- A まずは、信州にある日本百名山の残りを踏破すること。次に、国内外の世界遺産を巡ってみたいと思います。疲れたら、温泉宿でのんびり過ごすのもいいなと思います。
- Q 人生で最も影響を受けた人、またはどんな言葉ですか？(座右の銘など)
- A 座右の銘は「一生勉強 一生青春」です。医師としての生き方を端的に表した言葉だと思います。

花岡病院長からのご紹介で、次回は看護部 内田 緑 看護部長にご登場いただきます。

2024年度患者満足度調査結果のご報告

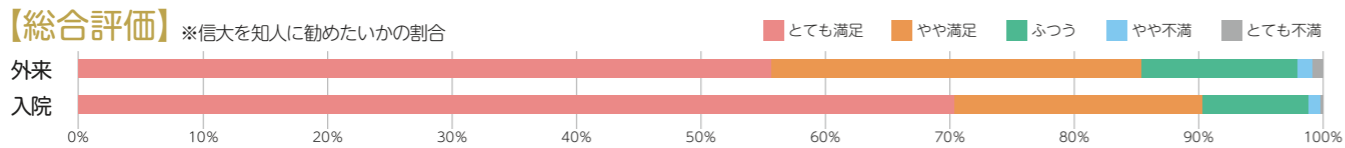
環境整備・患者サービス小委員会 委員長 内田 緑

2024年9月に実施した「患者満足度調査」にご協力いただき、ありがとうございます。昨年に引き続き、温かいメッセージやご意見をいただき、病院職員一同、大変励みになりました。

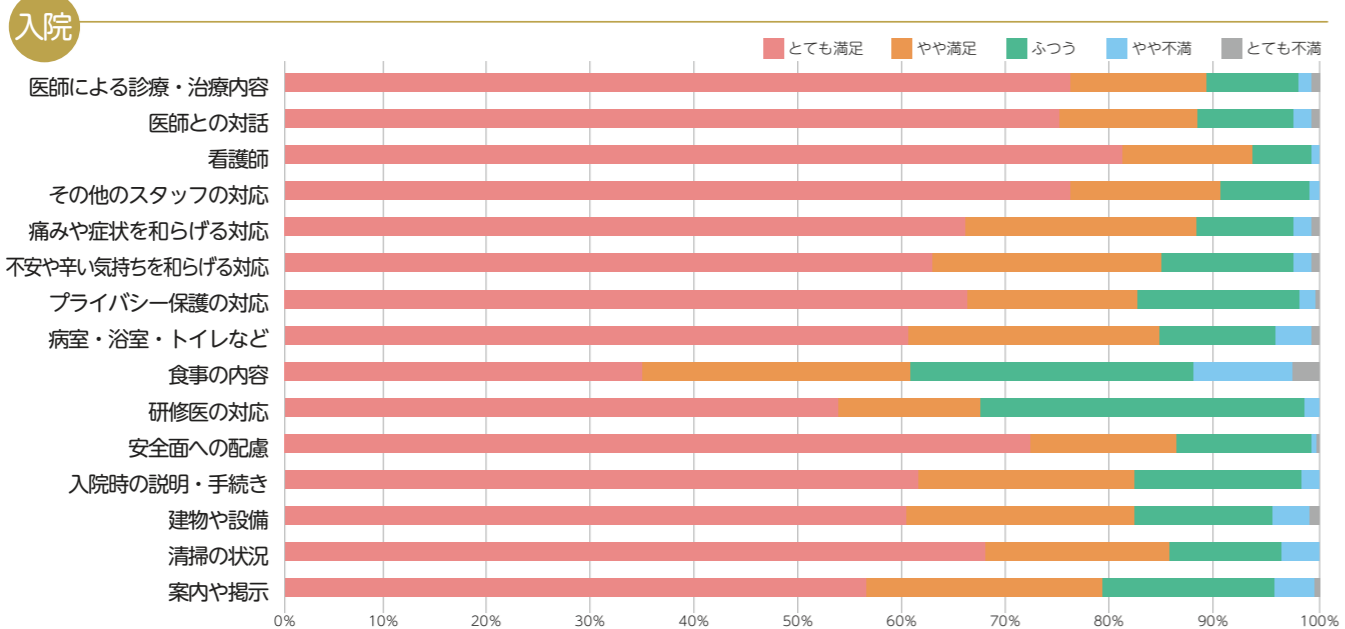
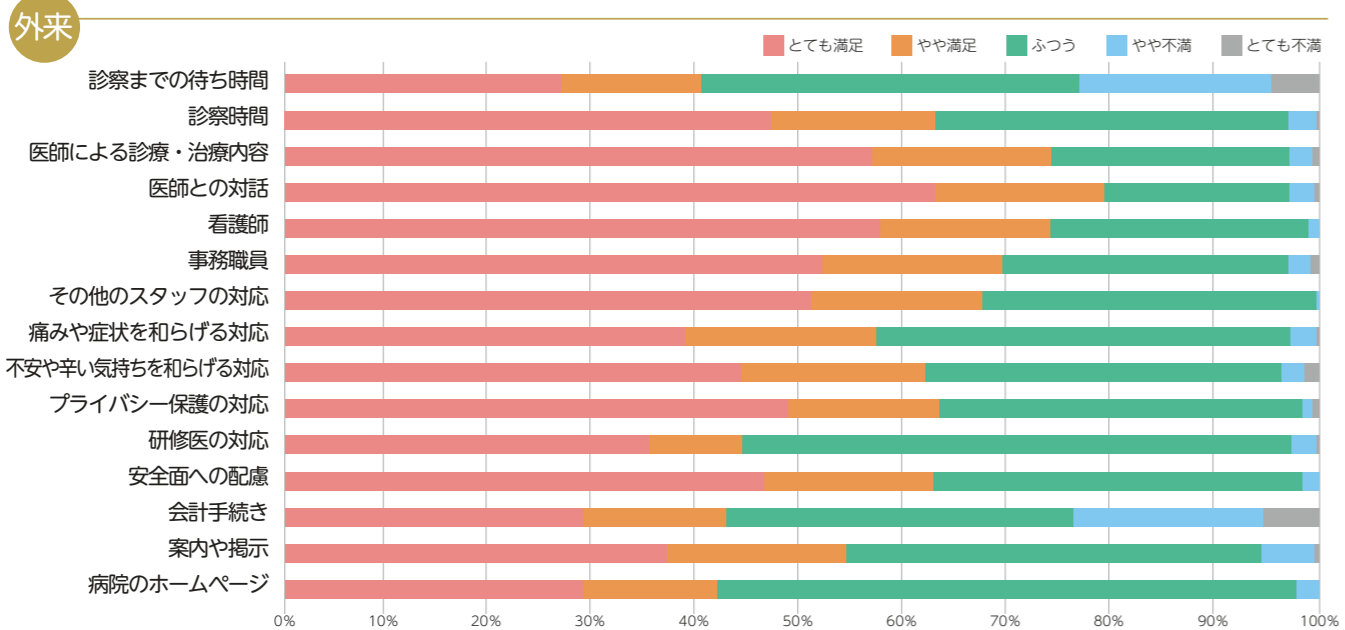
いただいたご意見を活かし、信頼され、安心してご利用いただける病院づくりを進めてまいります。

また、患者さんにとってより良い療養環境となるよう、病棟の大規模改修や外来の動線変更を進めておりますので、引き続きご期待ください。

調査報告

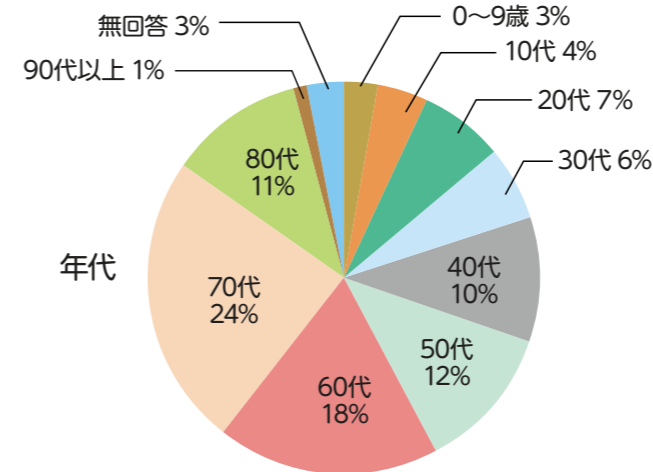


【個別の評価】

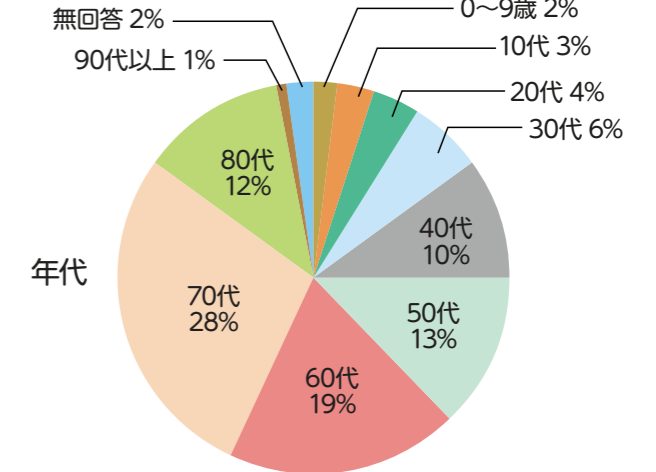


【調査概要】

外来 調査日：2024年9月11日(水)・12日(木)
回収数：489枚

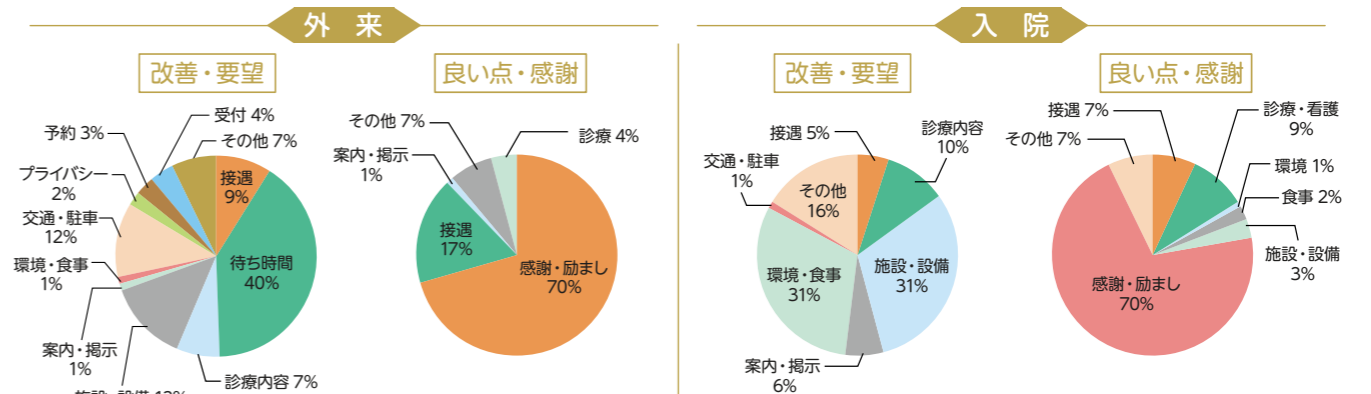
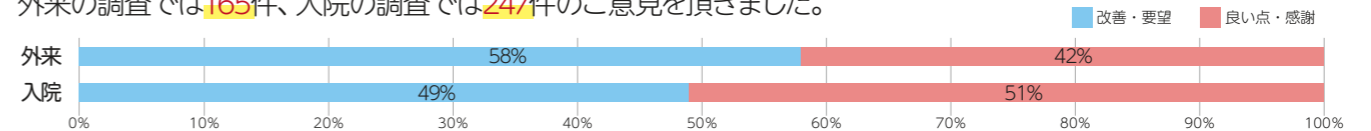


入院 調査日：2024年9月9日(月)~13日(金)
回収数：360枚



【自由記載について】

外来の調査では**165**件、入院の調査では**247**件のご意見を頂きました。



改善への要望(一部抜粋) 2024

- 外来**
- 玄関待合だけでもWi-Fiが欲しい
 - もっと悩みを聞いてほしい
 - 会計の待ち時間が長い

- 入院**
- コインランドリーがほしい
 - ごはんが固い
 - 工事中の騒音は仕方ないとは言え、大きな音にびっくりしました

お褒めの言葉(一部抜粋) 2024

- 外来**
- いつも丁寧に接していただいて、ありがとうございます
 - 日々忙しく大変だと思いますが頑張ってください
 - 診察は痛みも少なくありがたいです

- 入院**
- 皆さん優しく親身に接していただき感謝しています
 - フリーWi-Fiは大変助かります
 - 激務で大変だと思いますが、頑張ってください

【結果全体について】

総合的な満足度として外来85.3%、入院90.3%と、昨年度よりも高い水準となりました。特に、入院では、「病室・浴室・トイレなど」の項目で、昨年度よりも12.2%満足度がアップしました。大規模病棟改修により皆様には大変なご不便・ご迷惑をお掛けしておりますが、改修を終えた病棟について一定のご評価をいただけているものと存じます。

その他の項目も前年と比べ改善してきていますが、主に、「診察や会計の待ち時間」、「食事」、「研修医の対応」の項目について満足度が低めの結果となりました。今回いただいたご意見をもとに、患者さんに向けた情報提供や、丁寧な接遇をより一層心がけてまいります。よろしくお願いいたします。

科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition

第20回 総集編～掲載20回を記念して～

管理栄養士 高岡 友哉

信州大学病院の広報誌「ハミング」が今号で100号という大台に達しました。本コラムも掲載開始9年が経ち、今号で20回です。今回は一つの区切りとして、過去のコラムの中からぼくと友人たちのお勧めを3点（計4回分）紹介します。

①第11回

食費からみた病院給食のいいところを紹介しました。比較的手頃な値段で十分なエネルギー・栄養素を確保するのは難しいです。

②第13・18回

売れている本やインターネットサイトの食と健康情報の根拠に関する問題を取り上げました。本コラムでは「管理栄養士おすすめの料理レシピ」を紹介する予定はありません。特定のレシピをおすすめするための科学的根拠をぼくはまだ知らないからです。

③第19回

何年も前に農学出身の栄養疫学者から食事と温室効果ガスのことを教えてもらい、とても驚きました。長野県は自然の宝庫なので、いつか書きたいと思っていた内容です。

すぐに書ける内容が無くなると思っていたこのコラムもずいぶん長く続きました。ひとえに読者の皆さんと、世界中で食・栄養と健康の科学に協力して下さっている参加者の方々とたくさんの研究者のおかげです。ありがとうございます。21回目以降のコラムも興味深い内容になるはずなので、楽しみにお待ちください。

【科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition 掲載誌一覧】

- No.75 第1回 「EBNとは何なのか？」
- No.76 第2回 「コーヒーの健康効果」
- No.77 第3回 「良好な血糖コントロールを目指した食べ方のポイント」
- No.78 第4回 「お酒と食道がんの危ない関係。適度に飲んで楽しみましょう」
- No.79 第5回 「食べられる量が減ったときこそ水分補給」
- No.80 第6回 「豊かな食生活とあなたの素敵な笑顔を守るために歯を大切に」
- No.81 第7回 「ゆっくりと食べることで糖尿病を予防できるのか？」
- No.83 第8回 「健康栄養情報を考える 海藻を食べる習慣と総甲状腺癌発症リスクとの関係」
- No.84 第9回 「病院給食への質問を科学で答える ートランス脂肪酸ー」
- No.85 第10回 「コーヒーを飲むと血糖値はあがるのか？」
- No.86 第11回 「食費から見た病院給食の価値」
- No.87 第12回 「便利な世の中での困った問題 ースマートフォンの使い過ぎは食事と関わるのかー」
- No.88 第13回 「食と栄養の情報は科学に基づいているか否かが大切」
- No.89 第14回 「利用可能エネルギーからみたアスリートの課題」
- No.91 第15回 「ビタミンD、食べて浴びて維持して」
- No.94 第16回 「食べていないのに痩せないを考える」
- No.95 第17回 「食べることを測ること：満腹まで食べる習慣の科学はなぜ進まない」
- No.97 第18回 「日本語で書かれた食と栄養に関する一般書やオンラインの情報は根拠を示しているのか」
- No.99 第19回 「食と環境を考える ー温室効果ガス排出量を例にしてー」



病院広報誌「ハミング」
バックナンバーはこちらからご覧いただけます
<https://www.whp.md.shinshu-u.ac.jp/humming/>

信州大学医学部附属病院 広報誌「ハミング」創刊100号を迎えました

信州大学医学部附属病院 広報企画室

1995年8月1日に広報誌1号を刊行してから、今号で100号を迎えました。「病院21C」から「ハミング」への誌名変更や、4回のリニューアルを経て、現在のデザインとなりました。

これからも定期的に発行してまいりますので、ぜひご覧いただけますと幸いです。



1995年8月 1号



2008年10月 49号



2009年4月 51号



2021年12月 89号

広報企画室長よりご挨拶

病院広報誌 創刊100号を迎えて

広報企画室長 工 穰

このような記念すべき節目の号を担当することとなり、広報企画室を代表して御礼申し上げます。開かれた親しみやすい病院を目指し、様々な情報を院内外の方へお伝えする貴重なツールとして季刊発行されております。最初は白黒の誌面でしたが2008年の49号よりカラー化され、徐々にデザインも洗練されて参りました。また、ちょうど現在の新外来棟がオープンする2009年の51号から、誌名が「ハミング」となりました。公募された多数の名称より、“詩を口ずさむような口コミで広がる広報、明るく楽しい”等のイメージで選考されたようです。それから15年が経過し、現在は病棟改修が行われています。来春には完了して新病棟としてフルオープンする予定ですので、今後はその様子をお伝えしていきたいと思っております。またそれに合わせて病院ホームページもリニューアル予定です。これからも様々な新しい発信を続ける信大病院をどうぞよろしくお願いいたします。



月に1回ほどの頻度で、
広報に関わる会議を行っています

広報企画室会議の様子

2023年度 信大病院支援事業のご報告

事業期間 R5年4月1日～R6年3月31日

●収入額: 10,365,385円 [内訳: 企業2社, 個人7名]

→地域別では長野県内(個人3名)、匿名(企業2社、個人4名)

●支出額: 2,497,880円

→メディカルスタッフへの研修等支援費、車椅子6台、礼状額縁等消耗品等

皆さまからの温かいご支援に心より感謝申し上げます。
どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。



マイナンバーカードの健康保険証利用をおすすめします

医事課・医療支援課

信大病院では、11月末から、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる「マイナ保険証」の専用カードリーダーを順次増設しております。患者さんには以下のメリットがあります。

1. 手続きが簡単になります

病院や薬局での保険証確認がスムーズになります。保険証とマイナンバーカードを一枚にまとめることで、持ち物が減り便利です。また、確定申告の医療費控除、引っ越し・転職後の手続きが簡略化され、高額療養費の限度額を超える場合の一時金の支払いが免除されます。



2. 情報が一元管理されます

診療情報や薬の処方履歴が一元管理され、医師が過去の診療履歴を簡単に確認でき(※)、重複した検査や処方を避けることができます。
※患者さんが情報提供「する」とした場合

3. 緊急時の迅速な対応が見込めます

緊急時、医療機関が迅速に患者の情報にアクセスでき、適切な治療を受けやすくなります。

4. オンラインサービスの利用の幅が広がります

オンラインでの医療サービスや健康管理アプリと連携しやすくなり、健康管理がより効率的になります。

5. セキュリティが向上します

マイナンバーカードには高度なセキュリティ機能が備わっており、個人情報の保護が強化されています。

これらのメリットにより、より便利で安全な医療サービスを受けることができます。ぜひ、マイナンバーカードを健康保険証としてご利用ください。



電話番号表 (市外局番 0263)

患者さん専用ナビダイヤル：0570-00-3010

代表番号：35-4600

■ 医事課

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757

■ 医療支援課

外来予約センター	37-3500
診断書係	37-2762

■ 患者サポートセンター

総合医療相談室	37-3370
医療や治療についての相談	37-3370
がん相談	37-3045
移植に関する相談	37-2930
医療福祉相談	37-3370
こころの相談	37-3370
セカンドオピニオン外来受付	37-3111
栄養相談	37-2764
薬の相談	37-3013
医事相談	37-2762

地域医療連携支援室	37-3370
くすりの相談室	37-3013
高度救急救命センター	37-2222
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220
肝疾患診療相談センター	37-2922
生殖医療センター	37-3106
入退院支援室	37-3175

相談窓口 受付時間：月～金（祝除く）
9時～17時

編集後記

このたび、当院が発行する広報誌として100回目の発行を迎えることができました。この節目を迎え、新たな企画「医療現場のキラリ」の掲載をスタートし、第1回は花岡病院長をご紹介しました。病院長の医療現場以外の素顔にも触れていただけたかと思えます。これからも信大病院のホットな情報や職員紹介など、より身近に感じてもらえるような誌面作りを目指してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

広報企画室員 古澤 真紀

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp

へお送りください。
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】信州大学医学部附属病院 総務課
総務係 TEL:0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付

